

2 なたね

(1) 国際的ななたね需給の概要（詳細は右表を参照）

<米国農務省(USDA)の見通し>

【生産量】 2014/15年度 前年度比 ↑ 前月比 ↑

生産量は、カナダ、豪州、ウクライナで減少するものの、EU、インド、中国等で増加することから、世界全体では前年度を上回り71.9百万トンとなる見込み。

なお、前月からの予測の改訂は、世界全体で上方修正され、国別には、EUでわずかに上方修正された。

【消費量】 2014/15年度 前年度比 ↑ 前月比 ↑

消費量は、中国で減少するものの、EU等で増加が見込まれることから、世界全体では前年度を上回り71.1百万トンとなる見込み。

なお、前月からの予測の改訂は、世界全体で上方修正され、国別には、EUで上方修正、米国でわずかに下方修正された。

【貿易量】 2014/15年度 前年度比 ↓ 前月比 ↑

世界全体の貿易量は、前年度より減少し、13.8百万トンとなる見込み。

国別には、輸出国では、EU等で増加し、カナダ、豪州等で減少する見込み。

輸入国では、パキスタン等で増加し、中国、EU等で減少する見込み。

なお、前月からの予測の改訂は、世界全体で上方修正され、輸出国ではカナダで上方修正、EU等で下方修正、輸入国ではEUで上方修正、米国でわずかに下方修正された。

【期末在庫量】 2014/15年度 前年度比 ↑ 前月比 ↓

期末在庫量は、前年度より増加し、世界全体で7.4百万トンとなる見込み。国別には、カナダ等で在庫が取り崩されるものの、EU、豪州等で積み増しされる見込み。期末在庫率は10.4%と前年度より上昇する見込み。

なお、前月からの予測の改訂は、世界全体で下方修正され、国別には、カナダ、EU等で下方修正された。

図-1 世界のなたねのシェア(2014/15年度)

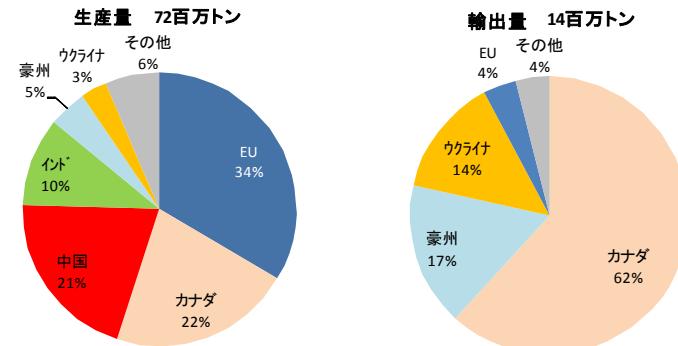


表-1 世界のなたね需給（米国農務省）

(単位:百万トン)

年 度	2012/13	2013/14 (見込み)	2014/15		
			予測値	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	63.8	71.1	71.9	0.1	1.1
EU	19.6	21.1	24.1	0.0	14.1
カナダ	13.9	18.0	15.6	-	▲ 13.4
中国	14.0	14.5	14.7	-	1.7
インド	6.8	7.3	7.5	-	2.7
豪州	4.1	3.8	3.3	-	▲ 12.3
ウクライナ	1.3	2.4	2.2	-	▲ 6.5
ロシア	1.0	1.4	1.5	-	7.7
消費量	65.4	69.4	71.1	1.0	2.4
うち搾油用	62.4	66.4	67.8	0.9	2.1
EU	23.4	24.9	25.8	1.0	3.7
中国	17.6	19.1	18.5	-	▲ 3.4
カナダ	7.0	7.1	7.3	-	3.6
インド	7.0	7.4	7.6	-	3.4
日本	2.4	2.4	2.5	-	3.4
米国	1.3	1.7	1.9	▲ 0.0	7.0
メキシコ	1.4	1.5	1.5	-	2.8
貿易量 (輸出)	12.5	15.1	13.8	0.1	▲ 8.9
カナダ	7.1	9.2	8.5	0.2	▲ 7.3
豪州	3.7	2.9	2.3	-	▲ 20.7
ウクライナ	1.3	2.2	1.9	-	▲ 15.3
EU	0.1	0.3	0.5	▲ 0.1	82.8
米国	0.2	0.2	0.1	▲ 0.0	▲ 13.9
ロシア	0.0	0.2	0.2	-	17.0
(輸入)					
中国	3.4	5.0	3.8	-	▲ 25.7
EU	3.4	3.5	2.9	0.5	▲ 15.9
日本	2.5	2.4	2.5	-	3.0
メキシコ	1.4	1.5	1.5	-	2.8
パキスタン	0.6	0.6	0.9	-	41.7
アラブ首長国連邦	0.6	0.7	0.7	-	0.0
米国	0.4	0.9	0.9	▲ 0.0	▲ 7.6
期末在庫量	5.1	6.7	7.4	▲ 0.4	10.9
カナダ	0.6	2.4	2.2	▲ 0.2	▲ 7.8
EU	2.6	2.0	2.6	▲ 0.2	33.5
中国	0.6	1.0	1.0	-	0.0
インド	0.6	0.5	0.4	-	▲ 19.3
豪州	0.3	0.4	0.5	-	45.9
米国	0.1	0.1	0.1	▲ 0.0	10.9
日本	0.1	0.1	0.1	-	▲ 3.5
期末在庫率	7.8%	9.6%	10.4%	▲ 0.7	0.8

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、「PS&D」、「Oilseeds : World Markets and Trade」(12 January 2015)

(2) なたねの主要生産・輸出国等の需給状況

ア カナダ

【需給状況】(詳細は右表を参照)

<米国農務省の見通し>

生産量は、前年度より減少し、15.6百万トンとなる見込み。

消費量は、前年度より増加し、7.3百万トンとなる見込み。

輸出量は、前年度より減少し、8.5百万トンとなる見込み。

期末在庫量は、前年度より減少し、期末在庫率も13.8%に低下する見込み。

なお、前月からの予測の改訂は、輸出量で上方修正された。結果として、期末在庫量が下方修正された。

【生育進捗状況及び作柄】

カナダ農務農産食品省「Outlook for principal field crops」(2014.12.19)によれば、2014/15年度の生産量は、15.6百万トンと史上最高を記録した前年度(18.0百万トン)に次いで、史上2番目を記録する見込み。

作付作業の遅れに加え、2014年9月半ばの降雪を伴う冷涼湿潤型の天候により収穫作業に遅れが生じたが、9月下旬以降、温暖乾燥型の天候に転じ収穫作業が進捗、10月末、主要産地の収穫作業はほぼ終了した。なお、生育及び収穫期間中に続いた冷涼湿潤型の天候により、単収は前年度に比べ大幅に低下する見込み。

イ 豪州

【需給状況】(詳細は右表を参照)

<米国農務省の見通し>

生産量は、前年度より減少し、3.3百万トンとなる見込み。

消費量は、ほぼ前年度並みの0.8百万トンとなる見込み。

輸出量は、前年度より減少し、2.3百万トンとなる見込み。

期末在庫量は、前年度より増加し、期末在庫率も17.2%に上昇する見込み。

なお、前月からの予測の改訂は行われていない。

【生育進捗状況及び作柄】

国際穀物理事会(IGC)「Grain Market Report」(2014.11.27)によれば、2014/15年度の生産量は3.4百万トンと、前年度(3.8百万トン)を9.6%下回る見込み。東部産地では、10月の乾燥により土壤水分不足が悪化し、単収は平年を大きく下回った。生育に適した天候に恵まれたウェスタンオーストラリア州では、比較的の作柄が良好で、単収は年度当初の予測を若干下回る程度と見られている。2014年12月、なたねの収穫作業は終了した。

我が国の輸入先国シェア1位 (2013年数量ベース 93.8%)	
世界の生産量シェア 2位 (2014/15年度 21.6%)	
輸出量シェア 1位 (2014/15年度 61.8%)	

表-2 カナダのなたね需給 (市場年度: 8月～翌年7月)

(単位: 百万トン)

年 度	2012/13	2013/14 (見込み)	2014/15		
			予測値、()はAAFC	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生 産 量	13.9	18.0	15.6 (15.6)	-	▲ 13.4
消 費 量	7.0	7.1	7.3 (7.4)	-	3.6
うち搾油用	6.7	7.0	7.2 (...)	-	3.2
輸 出 量	7.1	9.2	8.5 (9.2)	0.2	▲ 7.3
輸 入 量	0.1	0.1	0.1 (0.1)	-	51.5
期末在庫量	0.6	2.4	2.2 (1.5)	▲ 0.2	▲ 7.8
期末在庫率	4.2%	14.5%	13.8% (8.7%)	▲ 1.5	▲ 0.8

(参考)

収穫面積(百万ha)	8.80	8.01	8.08 (8.08)	-	0.9
------------	------	------	-------------	---	-----

单 収(t/ha)	1.58	2.24	1.93 (1.93)	-	▲ 13.8
-----------	------	------	-------------	---	--------

資料: USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、「PS&D」、
「Oilseeds : World Markets and Trade」、
「World Agricultural Production」(12 January 2015)
AAFC 「Outlook for Principal Field Crops」(19 December 2014)

我が国の輸入先国シェア2位 (2013年数量ベース 6.2%)	
---------------------------------	--

世界の生産量シェア 5位 (2014/15年度 4.6%)	
-------------------------------	--

輸出量シェア 2位 (2014/15年度 16.7%)	
-----------------------------	--

表-3 豪州のなたね需給 (市場年度: 12月～翌年11月)

(単位: 百万トン)

年 度	2012/13	2013/14 (見込み)	2014/15		
			予測値、()はABARES	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生 産 量	4.1	3.8	3.3 (3.3)	-	▲ 12.3
消 費 量	0.7	0.8	0.8 (...)	-	6.4
うち搾油用	0.7	0.8	0.8 (...)	-	6.7
輸 出 量	3.7	2.9	2.3 (2.1)	-	▲ 20.7
輸 入 量	0.0	0.0	0.0 (...)	-	0.0
期末在庫量	0.3	0.4	0.5 (...)	-	45.9
期末在庫率	6.5%	10.1%	17.2% (...)	-	7.2

(参考)

収穫面積(百万ha)※	3.27	2.66	2.70 (2.71)	-	1.5
-------------	------	------	-------------	---	-----

单 収(t/ha)	1.27	1.42	1.22 (1.23)	-	▲ 14.1
-----------	------	------	-------------	---	--------

資料: USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、「PS&D」、
「Oilseeds : World Markets and Trade」、
「World Agricultural Production」(12 January 2015)
ABARES 「Agricultural commodities」(9 December 2014)(※ABARESは作付面積)

ウ ウクライナ

【需給状況】(詳細は右表を参照)

<米国農務省の見通し>

生産量は、前年度より減少し、2.2百万トンとなる見込み。

消費量は、ほぼ前年度並みの0.2百万トンとなる見込み。

輸出量は、前年度より減少し、1.9百万トンとなる見込み。

期末在庫量は、前年度より増加し、期末在庫率も9.8%に上昇する見込み。

なお、前月からの予測の改訂は行われていない。

【生育進捗状況及び作柄】

ウクライナ農業政策・食料省によれば、2014年12月26日現在、2015/16年度の冬作物の作付面積は、800万ヘクタールと前年度を9%上回る見込み。このうち、冬なたねは、89.16万ヘクタールと前年度を5%下回る見込み。同日時点の冬作物の作柄は、良好/並みが82%、生育不良の状態にあるものが18%となっている。この時期にしては温暖な天候により、南部及び中央部と西部の一部では12月中旬に冬作物の生長が見られたが、これにより耐寒性が下がる可能性が高まっている。

エ EU

【需給状況】(詳細は右表を参照)

<米国農務省の見通し>

生産量は、前年度より増加し、24.1百万トンとなる見込み。

消費量は、前年度より増加し、25.8百万トンとなる見込み。

輸入量は、前年度より減少し、2.9百万トンとなる見込み。

期末在庫量は、前年度より増加し、期末在庫率も10.0%に上昇する見込み。

なお、前月からの予測の改訂は、2012/13年度の期末在庫量で上方修正、消費量で下方修正、2013/14年度の消費量、期末在庫量で上方修正、2014/15年度の消費量、輸入量で上方修正、生産量でわずかに上方修正、輸出量で下方修正された。結果として、期末在庫量が下方修正された。

【生育進捗状況及び作柄】

国際穀物理事会(IGC)「Grain Market Report」(2014.11.27)によれば、2015/16年度の作付面積は、なたね価格の低迷に伴い農家の採算が悪化すること及び秋季の天候不良から、前年度より減少し6.4百万ヘクタールと、過去3年で最低の水準となる見込み。また、2013年12月のEUにおけるネオニコチノイド系殺虫剤の使用を規制する決定に伴い、病害虫による被害が急激に増加している。

世界の生産量シェア 6位 (2014/15年度 3.1%)
輸出量シェア 3位 (2014/15年度 13.8%)

表-4 ウクライナのなたね需給 (市場年度：7月～翌年6月)
(単位:百万トン)

年 度	2012/13	2013/14 (見込み)	2014/15		
			予測値、0はOil.W	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生 産 量	1.3	2.4	2.2 (2.3)	-	▲ 6.5
消 費 量	0.0	0.2	0.2 (...)	-	▲ 1.3
うち搾油用	0.0	0.2	0.2 (...)	-	▲ 1.3
輸 出 量	1.3	2.2	1.9 (2.0)	-	▲ 15.3
輸 入 量	0.0	0.0	0.0 (...)	-	50.0
期末在庫量	0.1	0.1	0.2 (...)	-	288.5
期末在庫率	7.5%	2.2%	9.8% (...)	-	7.7
(参考)					
収穫面積(百万ha)	0.55	1.00	0.85 (0.88)	-	▲ 15.0
単収(t/ha)	2.38	2.36	2.59 (2.63)	-	9.7

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、「PS&D」、
「Oilseeds : World Markets and Trade」、
「World Agricultural Production」(12 January 2015)
OIL WORLD「OIL WORLD Monthly」(12 December 2014)

世界の生産量シェア 1位 (2014/15年度 33.5%)
輸入量シェア 2位 (2014/15年度 21.6%)

表-5 EUのなたね需給 (市場年度：7月～翌年6月)
(単位:百万トン)

年 度	2012/13	2013/14 (見込み)	2014/15		
			予測値、0はEU	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生 産 量	19.6	21.1	24.1 (22.8)	0.0	14.1
消 費 量	23.4	24.9	25.8 (25.6)	1.0	3.7
うち搾油用	22.5	23.9	24.7 (24.5)	0.9	3.2
輸 出 量	0.1	0.3	0.5 (0.3)	▲ 0.1	82.8
輸 入 量	3.4	3.5	2.9 (3.0)	0.5	▲ 15.9
期末在庫量	2.6	2.0	2.6 (1.3)	▲ 0.2	33.5
期末在庫率	10.9%	7.8%	10.0% (4.8%)	▲ 1.0	2.2
(参考)					
収穫面積(百万ha)	6.33	6.75	6.77 (6.76)	-	0.3
単収(t/ha)	3.10	3.13	3.55 (3.40)	-	13.4

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、「PS&D」、
「Oilseeds : World Markets and Trade」、
「World Agricultural Production」(12 January 2015)
EU「Balance sheets for cereals, oilseeds and rice」(18 December 2014)

オ 中国

【需給状況】(詳細は右表を参照)

<米国農務省の見通し>

生産量は、収穫面積が減少するものの、単収が上昇することから前年度より増加し、史上最高の14.7百万トンとなる見込み。

消費量は、搾油用需要が減少することから前年度より減少し、18.5百万トンとなる見込み。

輸入量は、前年度より減少し、3.8百万トンとなる見込み。

期末在庫量は、前年度並み、期末在庫率は5.6%に上昇する見込み。

なお、前月からの予測の改訂は行われていない。

【生育進捗状況及び作柄】

2014/15年度のなたねは、2014年5月末までに収穫作業を終了した。収穫面積は7.5百万ヘクタールと、史上最高の前年度より0.4%減少するものの史上2番目の水準であり、単収は1.96トン/ヘクタールと、前年度より2.1%上昇し史上最高が見込まれることから、生産量は、史上最高の14.7百万トンとなる見込み。

2015/16年度のなたねは、2015年1月上旬現在、揚子江中・下流域の大部分で5葉期から移植、活着期にある。湖南省中南部及び西南地区(チベット自治区、雲南省、四川省、重慶)の大部分では抽苔始期から抽苔期(花茎が伸びだす頃)にある。

【貿易情報】

中国通関(海関)統計によれば、2014年12月の輸入量は、前年同月比4.9%減の48.2万トンとなった。国別の輸入先は、カナダが41.2万トンと85.6%を占めた。また、2014年1~12月までの累計輸入量は、前年同期比38.7%増の508.1万トンとなった。国別には、カナダが449.2トンと全体の88.4%を占めた。

中国政府系研究機関の発表(2014.11.5)によれば、2014年のなたね輸入量は前年比64%増の5百万トンと、史上最高の水準に達する見込み。これは、政府が臨時買上げ政策を実施し国内なたねの価格を引き上げており、その価格は、船舶輸送費や税金などの輸入コストを含む輸入なたねより約40%高いため。

【その他】

中央一号文件(2014.1.19)に基づき、とうもろこし、なたね、砂糖の臨時買上げ・備蓄政策は引き続き実施される。中国政府は、なたねの生産を促進するため、最低価格保証と、耕作面積に応じた直接補助金を支給している。なたねの買上価格の下限は1トン当たり5,100元(9万6,900円)となっており、種子の購入補助金は1ヘクタール当たり150元(2,850円)となっている。

世界の生産量シェア 3位 (2014/15年度 20.4%)
輸入量シェア 1位 (2014/15年度 27.5%)

表-6 中国のなたね需給 (市場年度:10月~翌年9月)

(単位:百万吨)

年 度	2012/13	2013/14 (見込み)	2014/15		
			予測値、0はOil.W	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生 産 量	14.0	14.5	14.7 (10.8)	-	1.7
消 費 量	17.6	19.1	18.5 (...)	-	▲ 3.4
うち搾油用	17.0	18.5	17.9 (14.9)	-	▲ 3.5
輸 出 量	(...)
輸 入 量	3.4	5.0	3.8 (4.5)	-	▲ 25.7
期末在庫量	0.6	1.0	1.0 (...)	-	0.0
期末在庫率	3.6%	5.4%	5.6% (...)	-	0.2

(参考)

収穫面積(百万ha)	7.43	7.53	7.50 (6.30)	-	▲ 0.4
単収(t/ha)	1.88	1.92	1.96 (1.71)	-	2.1

資料: USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、

「Oilseeds: World Markets and Trade」、

「World Agricultural Production」(12 January 2015)

OIL WORLD「OIL WORLD Monthly」(12 December 2014)

写真 中国安徽省 5葉期のなたね (2015年1月9日撮影)



写真: I C N e t (株)